

放課後子ども活動支援モデル事業展開エリアの環境と地域概要

鮫川村は福島県の南端、東白川郡の北東部に位置し、東は古殿町といわき市に接し、西は棚倉町と浅川町に、南は塙町と茨城県北茨城市に、北は石川町に接しています。本村は阿武隈高原南部の頂上部にあるため、山脈丘陵が連なり、村の大部分は400mから650mの範囲にある。

耕地は山峡に開け、丘陵部の緩傾斜地の多くは、採草放牧地に利用されています。総面積は131.30km²で、林野面積が9,782haと総面積の約4分の3を占め最も多く、農用地が1,770ha、宅地が56haなどとなっています。

気候はおおむね表日本型気候で、標高が高いため、年によっては夏の異常低温による農作物への影響がみられます。

交通条件をみると、主要幹線道路として国道289号が村の南部を横断し、349号が村を南北に縦走しています。車で白河市へ約45分、郡山市・いわき市へそれぞれ約1時間、県都福島市へ約2時間の距離にあり、首都圏へも3～4時間の位置にあります。

周辺には東北自動車道、常磐自動車道、東北新幹線、福島空港への高速交通体系も整備されています。

人口の推移

1980年 5,537人

1985年 5,423人

1990年 5,219人

1995年 4,957人

2000年 4,602人

2005年 4,322人

村民憲章

—昭和62年3月制定—前文

碧い空、豊かな緑、美しい山なみが招くさわやかな高原の村、鮫川。

白樺が自生し、山すその清流にやまめが遊泳する恵まれた自然の環境、山峡に発する源流は白いしぶきをあげ、鮫川となり、渡瀬川となり、また殿川になって太平洋に注ぐ。

住民は素朴で心やさしく、しかも困難に耐えて互いに助け合い、農林業を主産業として勤労の美風を養いつつ、魅力あるふるさとづくりに励んできた。

私たちは、先人の遺したこの貴重な資産をうけつぎ、更に村民意識を高揚し、自覚と誇りをもって、これからの世代にたくましく伸びていく鮫川村をつくるため、この憲章を制定する。

村民憲章

1. 自然に親しみ、環境を整え、美しく住みよい村をつくりましょう。
1. 教養を高め、伝統を重んじ、文化の香り高い村をつくりましょう。
1. 健康で働き、きまりを守り、心のふれあう福祉の村をつくりましょう。
1. 資源を活かし、創意と努力を重ね、豊かな村をつくりましょう。
1. 協同と連携の意識を深め、希望と活力にみちた村をつくりましょう。

鮫川村の概要・・・その2

鮫川村民の歌

作詞 石田卯子八

作曲 岡部富士夫

一

阿武隈の山なみつづくみどり立(た)つ村
白樺はかぜにそよぎて
さわやかな人の心よ
ああここにひらく
かぎりなき希望(のぞみ)世代(せだい)を継(つ)ぎて
鮫川村をわれらおこさん

二

遥(はる)かなる起き伏す峯(みね)のうるわしき郷(さと)
山ゆりはさ霧(ぎり)にぬれて
香(か)ぐわしき人の情(なさけ)よ
ああここにきづく
もろ人むつみてたつき豊(ゆた)かに
鮫川村をわれらたたえん

教育

◆青生野小学校学級数と児童生徒数の推移（各年5月1日現在）

平成16年	17年	18年	19年	20年
3クラス・24人	4クラス・23人	4クラス・24人	4クラス・26人	3クラス・20人



活動小学校エリアにある「鹿角平牧場」
夏には野外キャンプ活動が出来ます。

鮫川村立青生野小学校の児童や山間地域の児童を対象として、

1. 子ども教室「放課後自遊教室」の実施

【実施日】週1回放課後 28回実施

【実施内容】集団による遊び、外国人青年、高校生、身近な大人との体験および活動

子ども教室「放課後自遊教室」の特徴

- 1、子どもにとって身近な大人の実在としてのかかわり。ニックネームで呼ぶなどの工夫。共に遊ぶ仲間というスタイルを徹底した。子どもとの距離感がなくなる。
- 2、指導者としての自覚。単に身近な大人、遊び相手をするのではなく、活動目的を見据え関わった。
- 3、安全管理を徹底している。危険箇所の毎回の点検。
- 4、外国人青年が活動に参加している。子どもたちは、山村にいながら国際交流に直接触れている。

成果

- 1、放課後の校庭に子ども達の元気な声が響き渡るくらい、活発になった。子どもが、恥ずがっていたが、徐々に社交的、明朗に変化していった。毎週の活動を楽しみに待っている。
- 2、対外的な活動に関わるNPO関係者とのコミュニケーションが循環している。ネットワーク構築がうまくいった。

課題

- 1、集団下校するため、活動時間の制約が生じる。これはどうすることも出来ない。地域環境の問題がある。
- 2、少人数なので、集団遊びと言っても単純遊びになる傾向が強い。校庭でのボール遊びが禁止になっているため、鬼ごっこ系が主になってしまう。
- 3、学校の先生もこの輪の中に入ってくれたらと、思うが授業意外にも諸所のお仕事がありフリーに関わる時間が中々見出せない現状がある。

活動カレンダー

7月	28日			
8月	26日			
9月	2日	9日	16日	30日
10月	7日	14日	21日	28日
11月	4日	11日	18日	25日
12月	2日	9日	16日	
1月	6日	13日	20日	27日
2月	3日	10日	17日	24日
3月	3日	10日	17日	



ジャングルジム鬼ごっこ



増やし鬼ごっこ



大人も思いきり



鬼ごっこスタート



何して遊ぼうか？



砂遊びも大好き



スロバキアから、



スペインから



遊びの相談！？



笑顔-1



笑顔-2



笑顔-3



笑顔-4



笑顔-5



笑顔-6

山間地域の児童を対象として、

2 週末地域サポート事業の実施

【実施日】 週末 14回実施

【実施内容】 過疎化、少子高齢化が進むこの地域で、外国人青年交流や農的活動を蓄積した。

週末地域サポート事業の特徴

- 1、里山の環境を最大限に活かし更に農的活動と食の活動を軸とした内容。
- 2、外国人青年が活動に参加している。子どもたちは、山村にいながら国際交流に直接触れている。
- 3、安全管理を徹底している。危険箇所の毎回の点検。
- 4、時間を気にすることなく、子どもたちはのびのび活動できる。

成果

- 1、山村環境の大切さを、参加することの楽しむ機会が提供できた。
- 2、親の参加も増えて行き、活動への理解度が上がった。
- 3、郷土意識が希薄になっている日常において、食と農の活動を導入し啓蒙が広がった。
- 4、それは土に触れたり、直接的な里山プログラムの展開により、感謝の気持ちが育成できた。

課題

- 1、農家世帯が多い中、農家にとって週末は関係なく、送迎できる家庭に限られるため一定の参加から増える傾向が中々見出すことが難しい。
- 2、親も一緒にこの活動に参加し楽しむという！！この段階まで引き上げることに時間がかかる。

活動カレンダー

9月	6日	7日	20日	21日
10月	25日	26日		
11月	1日	2日	22日	23日
12月	20日	21日		
1月	31日			
2月	1日			

週末活動の進行時間帯

9:00	9:30	11:30	12:00	13:10	
集合	オリエンテーション	午前の活動	昼食自炊	昼食	午後の活動

15:00	16:30	
おやつタイム	お迎え、解散	* 活動内容＝季節に合わせた農的活動、山活動



山の手入れ



つるでターザンごっこ



薪きり



焼き物教室



またまたターザンごっこ



お話…



冒険の橋



フリータイム



食育、石窯ピザ体験



食育プログラム



食育プログラム



食育プログラム



食育プログラム



食育プログラム



フリータイム



農作業—収穫



農作業—育てる



農作業—春の収穫



農作業中



雪遊び-1



雪遊び-2